

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月7日

上場会社名 株式会社 多摩川ホールディングス
 コード番号 6838 URL <http://www.tmex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 昇
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 白銀 寛
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月11日

上場取引所 JQ

TEL 0467-79-7027

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,273	—	76	—	84	—	84	—
20年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	16.02	—
20年3月期第1四半期	—	—

※前年第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、前年第1四半期の連結業績の実績及び対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	4,344	1,900	43.5	359.27		
20年3月期	4,996	2,055	40.9	389.11		

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 1,889百万円 20年3月期 2,046百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	—	—	0.00	0.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	1,950	—	75	—	39	—	35	—	6.65
通期	3,870	—	129	—	71	—	63	—	11.98

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

※前年第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、対前期及び対前年同四半期増減率は記載していません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 5,461,000株 20年3月期 5,461,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 201,160株 20年3月期 201,160株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 5,259,840株 20年3月期第1四半期 5,359,018株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、市場動向の変動や経済環境の変化など不確定な要因が含まれております。実際の業績は、業績予想とは異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国の景気後退懸念や株式・為替市場の変動、原油価格の動向等から、景気の下振れリスクが高まっており、エネルギー・原材料価格も徐々に上昇する傾向となっておりま

した。
このような経済状況のもと、当社グループの主要な事業である電子・通信機器の事業分野につきましては、携帯電話基地局関連の部品需要が、前下半期に引続き比較的好調に推移いたしました。また、地上波デジタル放送関連機器につきましても堅調な需要がありました。

レーザー機器につきましては、納入先が米国系企業を中心としている関係上、米国市場の景気後退に納入先企業の設備投資が左右される傾向があるものの、国内市場での販売が加わったこともあり、当初予定の売上高を確保することが出来ました。

当社グループといたしましては、収益重視の観点のもとに営業・生産活動を行い、この結果、当第1四半期連結会計期間における受注高は1,413百万円、売上高は1,273百万円となりました。

損益面では、売上高の増加に伴い、営業利益は76百万円、経常利益は84百万円となりました。

四半期純利益につきましては、84百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

①電子・通信機器事業

当第1四半期連結会計期間におきましては、携帯電話の800MHz帯周波数再編への対応に伴う各通信事業者による基地局関連の部品需要が、前下半期に引続いて高水準であったことにより、売上高は997百万円となっており、前期第1四半期における同事業部門の売上高に比較して432百万円の増加となっております。また、製品別では800MHz帯、2GHz帯のフィルタが主要製品となっております。

売上原価につきましては、786百万円となっており前年度原価率に比較して5ポイント、前年同期に比較して9ポイント程度の改善を達成しております。

販売費及び一般管理費は150百万円となっており、前期第1四半期における同事業部門比で16百万円の増加となっております。これは出荷増に伴う出荷コストの増加や各販売コストの増加など、全般的な変動費の上昇に伴うものです。

②レーザー機器事業

レーザー機器事業の売上高につきましては、276百万円となっております。主な売上先は国内及びアジア諸国の顧客への販売であり、製品別ではレーザーマーキングシステム及び消耗部品となっております。

売上原価、一般管理費につきましてはそれぞれ、172百万円、86百万円となっており、営業利益は17百万円です。

所在地別セグメントの状況につきましては、事業の種類別セグメントの電子・通信機器事業が「日本」、レーザー機器事業は「シンガポール」となっておりますが、レーザー機器の一部につきましては、日本国内にて販売を行っております。

なお、当社は、前年第3四半期より連結財務諸表を作成しているため前年第1四半期との比較をおこなっておりません。（以下「2. 連結財政状態に関する定性的情報」においても同じ。）

前述のセグメント業績につきましては、前期におけるデバイス機器部門とシステム機器部門の合計額(全社の金額)が当期における電子・通信機器事業部門となっておりますので、当該金額との比較をおこなっております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ652百万円減少し4,344百万円となりました。

これは主に、売掛債権等流動資産の減少、及び海外子会社で計上している無形固定資産について、親子会社間の会計処理の統一のため、国際会計基準から我が国の会計基準を適用することとなった結果によるものであります。

(負債)

当第1四半期末における負債は、前連結会計年度末に比べ497百万円減少し、2,443百万円となりました。

これは主に、買掛債務の減少を中心とした流動負債の減少によるものであります。

(純資産)

当第1四半期末における純資産の部は、前連結会計年度末に比べ154百万円減少し、1,900百万円となりました。

これは主に、前述の無形固定資産について国際会計基準から我国の会計基準に修正をおこなった結果、対応する株主資本の控除をおこなったことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、546百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、23百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、16百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、88百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の業績は、当初予定を上回る結果となりましたが、平成21年3月期の連結業績予想につきましては、今後、景気後退懸念等、受注・売上に関する不確定要因が多いため、現時点では平成20年5月30日付決算短信で発表いたしました業績予想を変更しておりません。上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の棚卸高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出につきましては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切り下げを行う方法によっております。

② 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当社では前連結会計年度末と当第1四半期連結会計期間末における貸倒引当金につきましては、個別評価による貸倒引当金のみとなっており、著しく変動していないと考えられますので、前連結会計年度末の決算において算定した数値を用いております。

③ 定率法を採用している減価償却資産の減価償却方法

当連結会計年度にかかる減価償却費の額を期間按分する方法により当第1四半期連結会計期間の減価償却費を計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	651,374	706,022
受取手形及び売掛金	1,831,822	2,045,880
有価証券	—	255,820
製品	106,885	157,671
原材料	132,018	72,851
仕掛品	433,211	349,552
その他	80,061	134,092
流動資産合計	3,235,373	3,721,890
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	494,103	494,103
減価償却累計額	△323,765	△320,067
建物及び構築物（純額）	170,338	174,035
工具、器具及び備品	1,143,865	1,245,327
減価償却累計額	△806,769	△787,583
工具、器具及び備品（純額）	337,095	457,743
機械装置及び運搬具	94,875	60,417
減価償却累計額	△47,071	△34,685
機械装置及び運搬具（純額）	47,804	25,732
土地	197,903	197,903
有形固定資産合計	753,141	855,415
無形固定資産		
ソフトウェア	27,970	29,620
その他	22,244	293,333
無形固定資産合計	50,214	322,953
投資その他の資産		
投資有価証券	299,013	89,690
その他	15,454	15,563
貸倒引当金	△8,604	△8,604
投資その他の資産合計	305,862	96,649
固定資産合計	1,109,219	1,275,019
資産合計	4,344,592	4,996,909

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間末
(平成20年6月30日)前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,163,867	1,300,515
1年内返済予定の長期借入金	206,062	270,018
1年内償還予定の社債	133,600	133,600
未払金	182,453	252,626
未払法人税等	19,299	70,700
賞与引当金	13,059	26,119
その他	119,053	239,024
流動負債合計	1,837,396	2,292,604
固定負債		
社債	249,700	266,400
長期借入金	173,964	173,947
繰延税金負債	10,769	8,485
退職給付引当金	68,710	69,153
その他	103,230	131,162
固定負債合計	606,375	649,149
負債合計	2,443,771	2,941,753
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,029,413	1,029,413
資本剰余金	1,023,804	1,196,022
利益剰余金	△133,819	△119,247
自己株式	△59,924	△59,924
株主資本合計	1,859,473	2,046,263
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,346	△231
為替換算調整勘定	23,881	638
少数株主持分	11,118	8,486
純資産合計	1,900,821	2,055,156
負債純資産合計	4,344,592	4,996,909

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	1,273,165
売上原価	959,366
売上総利益	313,799
販売費及び一般管理費	237,109
営業利益	76,690
営業外収益	
受取利息	4,981
受取配当金	7,580
為替差益	8,960
その他	7,354
営業外収益合計	28,875
営業外費用	
支払利息	11,807
その他	9,211
営業外費用合計	21,019
経常利益	84,546
税金等調整前四半期純利益	84,546
法人税、住民税及び事業税	1,914
法人税等調整額	—
法人税等合計	1,914
少数株主損失(△)	△1,604
四半期純利益	84,237

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	84,546
減価償却費	48,157
受取利息及び受取配当金	△12,561
支払利息	3,068
為替差損益 (△は益)	△8,960
売上債権の増減額 (△は増加)	233,254
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△104,597
仕入債務の増減額 (△は減少)	△48,536
その他	△123,048
小計	71,323
利息及び配当金の受取額	12,578
利息の支払額	△3,310
法人税等の支払額	△57,577
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,014
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の売却による収入	255,820
有形固定資産の取得による支出	△38,827
投資有価証券の取得による支出	△200,450
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,542
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	30,000
長期借入金の返済による支出	△101,364
社債の償還による支出	△16,700
配当金の支払額	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88,074
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,130
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△54,647
現金及び現金同等物の期首残高	601,214
現金及び現金同等物の四半期末残高	546,566

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	電子・通信用 機器事業 (千円)	レーザー機器 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	997,112	276,053	1,273,165	—	1,273,165
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	997,112	276,053	1,273,165	—	1,273,165
営業利益	59,531	17,158	76,690	—	76,690

(注) 事業区分の方法

事業は、製品の種類・用途により区分しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	日本 (千円)	シンガポール (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,044,942	228,223	1,273,165	—	1,273,165
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,044,942	228,223	1,273,165	—	1,273,165
営業利益	66,203	10,487	76,690	—	76,690

(注) 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

海外子会社で計上している無形固定資産について、親子会社間の会計処理の統一のため国際会計基準から我が国の会計基準を適用するのに伴い、利益剰余金を減少させております。

なお、当該減少させた金額は、271百万円であります。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

当社は、平成20年第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、前年第1四半期の(要約)四半期連結損益計算書については記載しておりません。

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

当社は、平成20年第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、前年第1四半期の(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書については記載しておりません。

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当社は、平成20年第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、前年第1四半期の事業の種類別セグメント情報については記載しておりません。

b. 所在地別セグメント情報

当社は、平成20年第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、前年第1四半期の所在地別セグメント情報については記載しておりません。

c. 海外売上高

当社は、平成20年第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、前年第1四半期の海外売上高については記載しておりません。